

保育計画成果報告書

法人名	株式会社てんとうむし
施設名	てんとうむし園
報告者(役職)	月足 聡美(施設長)
住所・連絡先	大阪府中央区内淡路2-4-7-101
	☎ 06-6948-6839
	E-mail tentoumushi.hoikuen@gmail.com

○タイトル(保育計画)

ほんものの音に触れよう 楽器遊び

○主な助成備品

楽器(木琴、ハンドベル、太鼓など)

1. 保育計画策定の目的

当園は平成29年2月1日に開園した、0・1・2歳児19名の小規模保育園です。

どの子ども、お歌が大好きです。体を動かすのも大好きなので、朝の会では体操を2曲以上踊ってから、晴れた日はお散歩へ出掛けます。お散歩中でも、子ども達の口からは、色々な歌が出てきます。雨の日は、広いお部屋を贅沢に使ってサーキット遊びをしたり、リトミック遊びをして、常に体を動かしながら音楽に触れています。秋のお散歩では、どんぐり拾いに行き、そのどんぐりを使って手作り楽器「マラカス」を作りました。お歌に合わせて、思い思いにリズムよくマラカスを振って楽しんでいる様子を見て、他にも色々な楽器があり、色々な音があることを知ってもらおうということで、楽器遊びを取り入れました。



2. 具体的な実施内容

まず最初に楽器1つ1つの音を鳴らし、全ての楽器を紹介しました。子ども達は、音を聞く度に「うわー」と歓声を上げていました。一通り音を聞いてから全部の楽器に好きなように触れる時間を設けました。全員が色々な音に触れた頃に、ピアノで♪おもちゃのチャチャチャ♪や♪かえるの合唱♪♪手をたたきましょう♪など、馴染みのある曲を弾き、保育者達と一緒に楽器を鳴らしました。CDの曲で♪それいけアンパンマン♪など、リズムの早い曲でも馴染みのある曲であれば、リズムよく楽器を鳴らすことがわかりました。

その後は、0、1歳児は集中が途切れると、音楽に合わせて歩き出したり、バチのもち手部分で楽器以外のモノを叩くなど、目的とは違う方向に向かってしまい、15分程で終了となりました。

12月のクリスマス会では、保護者の前で保育者がハンドベルの演奏やクリスマスソングのメドレーを披露しました。親子でじっと聞き入っている姿がありその後、保護者も交え子どもと一緒に楽器に触れる時間を設けました。



3. その成果と評価

楽器に触れる時間を十分に設けることができ、どの子も満足そうでした。お友だちの音をじっと聞いて『この音もいいな』と感じてその楽器の所へ移動したりと楽しそうでした。ただ、全児同時に楽器に触れる時間を持たせたので、月齢によっては集中時間が違ったり、楽器とは別のことに興味を持ってしまったりと楽器の出し方や月齢別の対応をもう少し話し合っておくべきだったと感じました。その後の保育では、自然と楽器が無くても、壁や床、コンクリートなど手や物を使って叩いて音を出して聞いている姿が見られるようになりました。



クリスマス会では、初めて楽器演奏を聞き、じっと座っている子、一緒に歌う子と様々でした。子ども達は、以前楽器に触れる経験があったので、自然とお気に入りの楽器の元へ行き、音を鳴らしていました。保護者は、「ほとんどの楽器が初めて見る、触れるものだった」



「あんなきれいな音がするんですね」「いい経験になった」という感想でした。その後の子ども達は、壁や床など様々な場所を手でたたいてみてはじっと音を聞いていたり、「先生みてみて!」と共感を求める子もいたり、周りには沢山の音が溢れていることに気付いたように感じました。

4. 今後の課題と展望

0・1・2歳児の保育のため月齢差があり、木琴等は難しいのではと考えていました。しかし、保育者間での話し合いでは「本物の音」を知るのがねらいなのだから、すべての楽器を用意しようとなりました。結果は大成功! どの子も保育者の真似をし、バチを正しく持っていたり、自然と順番を待つことができ、大人の注意する声が全くなかったのです。子ども達の観察力のすごさにも驚かされましたし、楽器以外のモノを使って音を奏でてみるという展開にもおどろきました。

ねらい通り。それ以上にはなりましたが、やはり月齢の差で集中力や興味関心が違うことがわかり、はじめる時間帯を変えてみたり楽器の出し方など細かい点で、工夫できたのではと感じました。

今まで、楽器の演奏は保育者がメインだったので保育の工夫と共に、マラカス以外で楽器を増やし、簡単な曲で子ども達が演奏を楽しみながら披露できればいいなと考えています。

以上